

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

2015年 第2号(秋季)

事務局:おにき矯正歯科クリニック内
〒861-4172 熊本市御幸笛田 1-9-38
TEL 096-334-8211 FAX 096-334-8210
E-Mail yasu1015@hyper.ocn.ne.jp



熊本矯正歯科研究会講演会 (H27. 5. 23 アークホテル熊本)

ご挨拶

熊本矯正歯科研究会 会長 伊東隆三



平成27年度、秋季第2号(通巻10号)のNEWS LETTERを会員の皆様にお届けできますことは、河野賢二広報担当常任理事はじめ役員の方々のご尽力によるものと感謝申し上げます。

熊本矯正歯科研究会会長に就任し3期、6年目になりますが、本年度をもちまして会長職を勇退させていただきます。次年度からは新会長のもと本研究会がさらに発展し活躍されんことを祈念しております。

さて、第12回九州矯正歯科学会学術大会が熊本で開催されます。平成29年2月11(土)、12(日)2日間に渡り開催されます。現在、山部準備委員長のもとで実行委員会が立ち上げられ準備を進めているところです。九州矯正歯科学会熊本支部会員と熊本矯正歯科研究会会員が協力し合って、また熊本県・市歯科医師会会員の先生方の絶大なるご支援いただきながら熊本大会を成功させねばなりません。

さて、熊本矯正歯科研究会秋季講演会は10月24日(土)に開催されますが、今回は昨年九州歯科大学顎口腔機能矯正学講座教授に就任されました川元龍夫先生をお招きしご講演いただきます。川元先生は東京医科歯科大学大学院に進まれ、森山啓司教授のもとで研究・教育・臨床に研鑽され顎顔面矯正学講座の講師を務められておりました。顎変形症の治療、研究等に対しては特に御造詣が深い、新進気鋭の先生であります。矯正に係る先生方にとりまして有意義な講演になるものと期待しております。

さて、この秋季熊本矯正歯科研究会臨時総会で会長選挙が行われます。熊本矯正歯科研究会の会長選出規定に則り選挙が行われます。若江選挙管理委員会委員長のもとで会長候補者の募集が行われ秋の臨時総会で会員による投票、選出の予定です。立派な新会長が選出されますよう会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

これまで言ってきましたように、熊本矯正歯科研究会では、行政や市民に対して、噛むことの重要性や現代病であるディスクレパンシーの予防のためにはもっと噛むことが必要であり、また食習慣の改善が重要であること等について啓発していくことが重要な課題であると考えております。虫歯の予防も大事ですが、顎の発育をどうするか、もっと考える必要があると思っております。この9

月から友愛会保育園園長重安康子先生のご協力をいただき、3,4,5 歳児の不正咬合の健診を行うことになりました。これをきっかけに噛むことの重要性、顎の発育への関心が高まることを期待しております。これからも矯正歯科専門医が一般歯科医と協力して不正咬合の予防や矯正治療の必要性について保護者や行政の方々に説明・理解を得ることが将来の歯科医療への貢献につながるものと考えております。

これからも熊本矯正歯科研究会の発展に皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度前期の主な活動

○ 平成 27 年度前期 常任役員会から

毎月一回、常任理事による役員会を行ない、熊本矯正研究会の行事（歯の祭典や講演会）や会計状況を検討しています。平成 27 年度前期は、常任役員会を 5 回開催致しました。

現在の主な議題は、次期会長選挙や九州矯正歯科学会熊本大会の準備について話し合ってきました。現在、伊東隆三先生が 6 年間会長を務められております。前回の会長選挙の際は立候補および推薦者がなく、伊東会長に継続していただいている状況です。また、平成 29 年 2 月 11・12 日には、崇城大学市民ホールにて第 12 回九州矯正歯科学会熊本大会が開催される予定です。現況は、常任役員会が中心となり準備委員会立ち上げた段階です。大会の準備・運営の際は皆様のご協力が必要となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 平成 27 年度 理事会および総会

平成 27 年 5 月 23 日、アークホテル熊本にて平成 27 年度第一回理事会・評議員会、平成 27 年度総会を開催しました。総会は、議長（田中弥興先生）、議事録署名人（高木公康先生、井原功一郎先生）、23 名の会員の先生方（委任状 40 名）にご参加いただき、成立致しました。

1) 報告事項

- ・ 会務：現在の会員数は 96 名です。
- ・ 会務：熊本市歯科医師会主催の「2015 歯の祭典」（6 月 7 日 ウェルバル熊本）の矯正歯科相談に本会より 9 名が出務しました。イベントは無事終了し、矯正歯科相談者数は 66 名でした。休日にも関わらず、出務された先生方お疲れ様でした。
- ・ 学術：10 月 24 日（土）に秋の講演会、忘年会を開催いたします。講演会は九州歯科大学矯正学講座 川元龍夫教授をお招きする予定です。
- ・ 学術：2017 年 2 月 11・12 日は九州矯正歯科学会熊本大会が決定しています。本会が包括することとなっておりますので、ご協力をお願いします。
- ・ 広報：ニュースレターを年 2 回発行しています。ホームページからも閲覧できます。
- ・ 会計：会費納入状況は、95 名中 58 名の入金が確認されております（H27.5.21 時点）。
- ・ 地域・連携：ホームページの更新を行っております。

2) 審議事項

- ・ 平成 28 年度会長・監事選挙に伴う選挙管理委員の選出について
今年の秋の臨時総会における会長・監事選挙に向け、選挙管理委員会の設立が必要です。選挙管理委員の選出を行った結果、若江秀敏先生、下山文江先生、中嶋隆志先生の 3 名に決定しました。
- ・ 秋季講演会の演者推薦について
伊東三先生より、慣例として九州圏内の歯科大学の教授が新任された場合は講演を依頼しているので、九州歯科大学矯正学講座の川元龍夫先生が推薦されました。
- ・ 平成 26 年度決算・平成 27 年度予算の承認を求める件について
平成 26 年度決算報告は徳永監事と澤木監事により平成 27 年 3 月 31 日付けで監査を受け、承認されていることが太田常任理事と澤木監事より報告がありました。平成 27 年度予算案について、年々増加している繰越金は平成 29 年度九州矯正歯科学

会に使用されるのかと、会員の先生から質問がありました。その件について、もし学会開催で必要になった場合は総会または臨時総会で承認を得ることとなりました。

平成26年度熊本矯正歯科研究会決算報告

収入の部		支出の部	
自 平成26年 4月 1日			
至 平成27年 3月 31日			
H26年度年会費(6,000×82名)	492,000	通信費	21,801
入会金(4,000×1名)	4,000	事務局経費(印刷代等)	85,054
H25年度未納分(6,000×12名)	72,000	会議経費	3,945
H24年度未納分(6,000×2名)	12,000	ホームページ維持管理費(レンタルサーバー料および迷惑フィルター料各2年分:2014.5月～2016.4月)	36,183
5月総会懇親会費(会員)(7,000×31名)	217,000	5月総会 室料・宴会費・その他(アークホテル)	228,980
5月総会懇親会費(スタッフ)(3,000×12名)	36,000	講演会講師謝礼・宿泊費・交通費・その他	115,904
10月秋季例会懇親会費(会員)(7,000×28名)	196,000	感謝状	2,380
10月秋季例会懇親会費(スタッフ)(3,000×12名)	36,000	受付スタッフ口当(5,000×3名)	15,000
御禮(5月:10,000×1件)	10,000	10月秋季例会 室料・宴会費・その他(アークホテル)	222,140
利息	354	講演会講師謝礼	50,000
H25年度繰越金	2,021,385	感謝状	2,448
小計	3,096,739	受付スタッフ口当(5,000×3名)	15,000
		小計	798,835
			(単位:円)

H26年度繰越金 | 2,297,904 | (内訳: 通帳¥2,246,074、現金¥51,830)

平成27年度熊本矯正歯科研究会予算案

収入の部		支出の部	
H27年度年会費(6,000×89名)	534,000	通信費	50,000
H25、26年度年会費(未納分)(12,000×1名)(6,000×6名)	48,000	事務局経費(印刷代等)	100,000
5月総会懇親会費(会員:7,000×35名、スタッフ:3,000×15名)	290,000	会議経費	20,000
5月臨時総会懇親会費(会員:7,000×35名、スタッフ:3,000×15名)	290,000	ホームページ維持管理費(HPDメイン登録料(5年分)および年間メンテナンス料)	16,600
新入会の年会費(6,000×4名)	24,000	5月総会 室料・宴会費・その他	280,000
入会金(4,000×4名)	16,000	講演会講師謝礼・宿泊費・交通費	150,000
H26年度繰越金	2,297,904	10月臨時総会 室料・宴会費・その他	280,000
小計	3,499,904	講演会講師謝礼・宿泊費・交通費	150,000
		感謝状(5、10月:3,000×2名)	6,000
		受付スタッフ口当(5、10月:5,000×6名)	30,000
		日本矯正歯科学会代議員会および九州矯正歯科学会総会出向交通費	100,000
		予備費	2,317,304
		小計	3,499,904
			(単位:円)

平成27年 3月27日、通帳、領収書など関係書類を確認した結果、適正に処理されていたのでここに監査の結果、相違ないものと認めます。
 監事 澤木 孝司
 監事 徳永 俊英

総会に引き続き、講演会と懇親会が行われました。講演会は京都府宇治市開業の居波徹先生にいただきました。懇親会は会員の先生のみでなく、熊本県歯科医師会と熊本市歯科医師会から来賓の先生、歯科関連業者の方、スタッフの皆様方など多くの方にご参加いただきとても盛り上がりました。ありがとうございました。

特別講演 「わたくしの矯正臨床」 いなみ矯正歯科(京都府宇治市) 院長 居波 徹先生



抄録:「わたくしの矯正臨床」というテーマでお話しさせて頂く機会を得て光栄です。1976年に愛知学院大学歯学部を卒業後に矯正学講座に入り助手を経て、1981年に京都府宇治市にて開業しました。スタートは小児歯科治療でした。徐々に矯正歯科治療の割合がふえ1990年頃から矯正歯科に変化しました。北海道で開催された第25回日本小児歯科学会(1987)で「咬合育成」の演題で乳歯のアンキローシスで萌出困難となった小臼歯の牽引誘導の症例報告をした時に、嘉ノ海龍三先生と出会いました。仲間を募り『咬合誘導研究会(現 成育歯科医療研究会)』を立ち上げました。大学では乳歯反対咬合の研究をしていましたが、日常臨床の場で「反対咬合の鑑別診断」を探し求めていました。また、1981年より毎年「レベルアンカレッジシステム」研修会に出席して、マルチブラケット法の「共通言語」の習得を行いました。つまり矯正診断の基礎概念を再度認識していきました。この事は、後の『日本矯正歯科学会専門医制度』のために非常に役立ちました。また、長年温めてきた「リングルブラケット矯正治療」も本格的に行う事としました。いま何故『リングルブラケット矯正法』なのでしょう。小児・成長期患者の、カリエス罹患率が従来のラビアル矯正の1/5に軽減すると言われ、吹奏楽が可能で、スポーツ外傷の低減等多数の特徴を持っており、将来性があると判断しました。リングルブラケット矯正を行う場合も診断・治療方針が要で日本人に多いハイアングル、上下顎前突症の治療時に考慮すべき問題点の研究を行いました。また、1985年頃よりKurz7thやSTBなどエッジワイズスロットの従来型のブラケットを使用してきましたが、2008年からは、フルカスタム・フルディジタルリボンワイズVHリングルブラケットシステムに変更しました。現在、印象をドイツに送り、デジタルセットアップから装置をCAD-CAMで作成したものを使用しています。この、フルカスタムリングルブラケット矯正装置のシステムはある意味で矯正歯科診療の近未来型の一面を示唆しています。この方法の特徴や臨床例について拙い臨床研究を含めご紹介させて頂きたいと思います。以上
 自院の診療のみならず臨床教授など後進の指導もなされる中、快く講演を引き受けていただきました。先生は、通常では手間暇がかかるため避けたい舌側マルチブラケット治療をカリエス罹患率の低い点に注目され、それを中心に診療されているとのことでした。また、新しい治療方法も積極的に取り入れられるだけでなく、それらをデータで裏付けされている先生の素晴らしい矯正に対する姿勢を今回の講演で少しだけでも体感できました。居波先生どうもありがとうございました。

懇親会スナップ



今後の予定とお知らせ

- 平成 27 年 10 月 24 日（土）に、アークホテル熊本で平成 27 年度熊本矯正研究会理事会・評議員会・臨時総会および秋の講演会を行います。忘年会も予定しておりますので、スタッフの方もお願い合わせの上ぜひご参加ください。
理事会・評議員会（16：30 開始）、臨時総会（17：00 開始）、講演会（18：00 開始）、記念撮影（19：30）、忘年会（19：40 開始）
講演会：九州歯科大学矯正学講座 教授 川元龍夫先生
※臨時総会では次期会長・監事選挙を予定しています。
- 次期会長選挙の立候補者を募集しております。締め切りは 9 月 24 日です。
- 会費未納の先生はお早めに入金をお願いいたします。